



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日

上場会社名 株式会社プロディライト 上場取引所 東
コード番号 5580 URL https://prodelight.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小南 秀光
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 金森 一樹 TEL 06 (6233) 4555
定時株主総会開催予定日 2024年11月28日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2024年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年8月期 | 2,196 | 9.4 | 190 | 47.4 | 187 | 48.6 | 148 | 63.6 |
| 2023年8月期 | 2,008 | 13.0 | 129 | 16.9 | 126 | 10.2 | 90 | 10.7 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年8月期 | 90.74 | 87.59 | 20.4 | 15.9 | 8.7 |
| 2023年8月期 | 62.63 | 62.00 | 19.7 | 12.5 | 6.4 |

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 -百万円 2023年8月期 -百万円

(注) 当社は、2023年6月28日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年8月期 | 1,208 | 802 | 66.4 | 490.88 |
| 2023年8月期 | 1,162 | 652 | 56.2 | 399.76 |

(参考) 自己資本 2024年8月期 802百万円 2023年8月期 652百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年8月期 | 165 | △47 | △140 | 463 |
| 2023年8月期 | 148 | △60 | 153 | 485 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年8月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 | - | - | - |
| 2024年8月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 | - | - | - |
| 2025年8月期(予想) | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 | - | - | - |

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|------|------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 1,152 | 9.9 | 77 | 23.5 | 75 | 24.2 | 50 | 38.6 | 30.63 |
| 通期 | 2,374 | 8.1 | 200 | 5.3 | 198 | 5.5 | 132 | △10.7 | 80.91 |

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年8月期 | 1,635,600株 | 2023年8月期 | 1,632,850株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年8月期 | －株 | 2023年8月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年8月期 | 1,633,235株 | 2023年8月期 | 1,446,186株 |

※ 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定の基礎となる株式数については、添付資料11ページ「3. 財務諸表及び主な注記(5)財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2024年10月15日にTDnetに開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 貸借対照表 | 5 |
| (2) 損益計算書 | 7 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (持分法損益等) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (1株当たり情報) | 11 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復等も相まって、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、物価高の進行、人手不足などといった課題や金融資本市場の変動等の影響に加え、中東地域をめぐる情勢等の地政学リスクの高まり、中国経済の先行き懸念、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響などの海外景気の下振れが我が国経済を下押しするリスクとなっていることから、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

クラウドPBX市場の規模は、2022年度実績の242億円から2023年度見込は286億円（前年度比18.2%増）、FMC（Fixed Mobile Convergence）市場の規模は、2022年度実績の313億円から2023年度見込は326億円（前年度比4.2%増）、03や06等の市外電話番号を利用した0ABJ電話サービス市場（法人利用）の規模は、2022年度2,668億円から2023年度見込は2,627億円（前年度比1.5%減）（出典：株式会社富士キメラ総研「2023コミュニケーション関連マーケティング調査総覧」）と総じて拡大しており、今後もテレワークの推進、フリーアドレス化などのオフィス環境の変化、企業のBCP（事業継続計画）対策の強化等に向けた取組みとしてのクラウドPBX導入など市場の成長が見込まれています。

このような状況のもと、当社では、自社開発のクラウドPBX「INNOVERA」を中心に、様々なIP電話回線、スマートフォンアプリ、ネット回線、固定端末をワンストップで提供することにより、お客様の「電話のDX」の実現に取り組んでおり、更なる収益力の向上を目指し次のような施策を実施してまいりました。

「INNOVERA」においては、お客様の利便性を重視したサービスの追求に努めるべく、2024年7月に管理画面上で文字入力することで自然な音声ガイダンスの作成と設定がシームレスにできるようAIによる音声合成機能を追加、オプションサービスとして、2023年10月に電話の自動応答後にSMSを送信する「INNOVERA SMS」の提供を開始いたしました。また、新サービスとして、2024年3月に株式会社エーアイの音声合成技術を「INNOVERA」に活用することにより顧客応対品質の向上と電話業務の効率化を両立させた「Telful（テルフル）powered by INNOVERA」の提供を開始いたしました。加えて、JAPAN AI株式会社と業務提携を行い、生成AIサービスを活用した業務効率化のための新技術・新サービスの開発を開始いたしました。

販売面におきましては、幅広い顧客層と強固な販売網を持つ大手販売代理店との新たな販売パートナー契約締結により「INNOVERA」の販売網を強化するとともに、2023年12月に自社主催のイベント「INNOVERA Fes 2023 大感謝祭」を開催し「INNOVERA」の知名度向上を図るなど、新たな顧客創出に努めてまいりました。

さらに、株式会社大塚商会との協業により「INNOVERA」とiPadを連携することで受付業務の効率化を図るソリューション「iPad受付内線パック」など、当社システムと他社機器を連携した商品を発売するとともに、パナソニックビジネスサービス株式会社（現 株式会社パナソニック日本総務部）との協業による業務アプリ構築クラウドサービス「kintone」と「INNOVERA」を連携することで電話応対に伴う顧客管理を効率的に行うことができるサービスの提供開始や株式会社ソフツーが提供するクラウド型電話AIサービス「ミライAI」と「INNOVERA」との連携など他社との連携強化にも取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は2,196,897千円（前事業年度比9.4%増）、営業利益は190,748千円（同47.4%増）、経常利益は187,968千円（同48.6%増）となり、法人税、住民税及び事業税は、賃上げ促進税制による税額控除を受けた影響により、当期純利益は148,199千円（同63.6%増）となりました。

なお、当社は全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計に占める音声ソリューション事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメントごとの経営成績の記載は省略し、サービス区分別の状況を記載しております。当事業年度におけるサービス区分別の状況は、次のとおりであります。

（システムサービス）

システムサービスは、前事業年度に引き続き、顧客のDX需要が堅調であり、新たに販売パートナー契約を締結した大手販売代理店による案件増加など、販売代理店制度「パートナープログラム」も奏功したことから、「INNOVERA」のアカウント数を順調に伸ばしました。その結果、売上高754,110千円（同18.4%増）、売上総利益432,840千円（同14.0%増）となりました。

（回線サービス）

0ABJ型IP電話回線サービスは、「INNOVERA」のアカウント増に伴うチャンネルの増加、既存顧客の事業拡大や拠点追加等によるチャンネルの追加があったことから、「IP-Line」の総チャンネル数が増加いたしました。その結果、売上高1,120,210千円（同3.9%増）、売上総利益472,410千円（同2.9%増）となりました。

（端末販売）

端末販売は、Yealink社製端末の販売が好調であったことから、売上高は273,865千円（同9.1%増）となり、その他機器の仕入先の見直しにより仕入原価の低減を図ったことから、売上総利益は96,486千円（同17.7%増）となりました。

（その他）

その他の売上高につきましては、売上高48,711千円（同13.6%増）、売上総利益48,711千円（同13.6%増）となりました。

当社はストック型ビジネスモデルのため、「INNOVERA」のアカウント数（利用端末数）、及び「IP-Line」のチャンネル数（同じ電話番号での同時利用可能者数）を伸ばし、アカウント及びチャンネルの解約率を低く抑えることが安定した収益拡大につながります。そのため、「INNOVERA」の増加アカウント数と解約率、「IP-Line」の増加チャンネル数と解約率、リカーリング（継続）売上高比率を重要な経営指標と考えております。当事業年度において「INNOVERA」総アカウント数及び「IP-Line」総チャンネル数については、パートナープログラムが奏功し、順調に推移しております。2021年8月期以降のこれらの重要な経営指標の推移は、以下のとおりであります。

| | 2021年8月期 | 2022年8月期 | 2023年8月期 | 2024年8月期 |
|------------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 「INNOVERA」総アカウント数 (アカウント) | 20,474 | 26,829 | 33,761 | 41,233 |
| 月平均解約率（アカウント） (%) | 1.17 | 0.64 | 0.90 | 0.79 |
| 「IP-Line」総チャンネル数 (チャンネル) | 44,780 | 53,448 | 64,652 | 71,811 |
| 月平均解約率（チャンネル） (%) | 1.48 | 0.85 | 0.94 | 1.03 |
| リカーリング売上高比率 (%) | 74.6 | 79.5 | 80.1 | 79.4 |

- （注） 1. 「INNOVERA」総アカウント数は、各事業年度末時点の「INNOVERA PBX1.0」と「INNOVERA PBX2.0」の契約アカウント数の合計を記載しております。（「INNOVERA Outbound」のアカウント数は含みません。）
2. 月平均解約率（アカウント）（%）は、「INNOVERA PBX1.0」と「INNOVERA PBX2.0」の当月解約アカウント数÷前月末の契約総アカウント数で毎月の解約率を計算し、その12カ月の平均を記載しております。
3. 「IP-Line」総チャンネル数は、各事業年度末時点の「IP-Line」契約総チャンネル数（OEM含む）の合計を記載しております。
4. 月平均解約率（チャンネル）（%）は、「IP-Line」の当月解約チャンネル数÷前月末の契約総チャンネル数で毎月の解約率を計算し、その12カ月の平均を記載しております。
5. リカーリング売上高比率（%）は、リカーリング・レベニュー（システムサービス売上高+回線サービス売上高-初期導入費用）÷総売上高で計算して、記載しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における資産合計は、1,208,953千円となり、前事業年度末に比べ46,773千円増加いたしました。その内容は、以下のとおりであります。

当事業年度末における流動資産は、1,017,750千円となり、前事業年度末に比べ32,505千円増加いたしました。これは主に売掛金が37,539千円、商品が4,670千円増加したものの、現金及び預金が9,477千円減少したことによるものであります。

当事業年度末における固定資産は、191,202千円となり、前事業年度末に比べ14,268千円増加いたしました。これは主にソフトウェアが15,756千円、長期前払費用が1,767千円、繰延税金資産が8,013千円増加したものの、工具、器具及び備品が2,335千円、建設仮勘定が3,289千円、無形固定資産のリース資産が1,831千円、ソフトウェア仮勘定が3,565千円減少したことによるものであります。

（負債）

当事業年度末における負債合計は、406,076千円となり、前事業年度末に比べ103,350千円減少いたしました。その内容は、以下のとおりであります。

当事業年度末における流動負債は、350,079千円となり、前事業年度末に比べ800千円減少いたしました。これは主に買掛金が13,630千円、未払金が15,445千円、預り金が9,869千円、未払費用が4,066千円増加したものの、1年

内償還予定の社債が10,000千円、1年内返済予定の長期借入金が26,818千円、未払法人税等が4,140千円減少したことによるものであります。

当事業年度末における固定負債は、55,997千円となり、前事業年度末に比べ102,549千円減少いたしました。これは主に長期借入金101,681千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産合計は、802,876千円となり、前事業年度末に比べ150,124千円増加いたしました。これは主に当期純利益148,199千円により利益剰余金が増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ22,380千円減少し、463,079千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果得られた資金は165,588千円（前事業年度比11.6%増）となりました。これは主に税引前当期純利益が186,527千円、減価償却費30,719千円、仕入債務の増加額13,630千円による資金の増加があったものの、売上債権の増加額37,539千円、棚卸資産の増加額4,670千円、法人税等の支払額46,242千円等があったことによるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果使用した資金は47,637千円（同21.7%減）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入30,100千円があったものの、定期預金の預入による支出43,002千円、有形固定資産の取得による支出2,990千円、無形固定資産の取得による支出31,717千円等があったことによるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果使用した資金は140,331千円（前事業年度は153,747千円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出128,499千円、社債の償還による支出10,000千円等があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復が続くことが期待されていますが、物価高の進行、人手不足などといった課題や金融資本市場の変動等の影響もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような状況のもと、当社は、中長期の持続的な成長を実現するべく、事業戦略である固定電話・モバイル端末という垣根を超え「電話のあり方」そのものを変革する「電話のDX」を推進するため、主力サービス「INNOVERA」の進化に注力してまいります。具体的には、AI技術を取り入れた「INNOVERA」の機能拡充、他社サービスとの連携推進、パートナーシップ強化等による営業体制の最適化、ブランド力の強化等に取り組んでまいります。

以上により、翌事業年度（2025年8月期）の業績見通しにつきましては、売上高2,374,169千円（前事業年度比8.1%増）、営業利益200,783千円（同5.3%増）、経常利益198,236千円（同5.5%増）となり、法人税、住民税及び事業税は、賃上げ促進税制による税額控除を見込んでいないため、当期純利益132,336千円（同10.7%減）を予想しております。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国株主比率の推移及び国内の同業他社の国際財務報告基準の適用動向等を踏まえて、国際財務報告基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年8月31日) | 当事業年度 (2024年8月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 673,568 | 664,091 |
| 売掛金 | 274,678 | 312,217 |
| 商品 | 22,111 | 26,782 |
| 前渡金 | 1,280 | 224 |
| 前払費用 | 12,095 | 13,701 |
| その他 | 2,066 | 1,190 |
| 貸倒引当金 | △556 | △458 |
| 流動資産合計 | 985,244 | 1,017,750 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 92,432 | 98,412 |
| 減価償却累計額 | △57,645 | △63,054 |
| 建物(純額) | 34,786 | 35,357 |
| 工具、器具及び備品 | 32,175 | 29,980 |
| 減価償却累計額 | △27,727 | △27,869 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 4,447 | 2,111 |
| リース資産 | 2,946 | 2,946 |
| 減価償却累計額 | △2,209 | △2,798 |
| リース資産(純額) | 736 | 147 |
| 建設仮勘定 | 3,289 | — |
| 有形固定資産合計 | 43,259 | 37,616 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 60,371 | 76,128 |
| リース資産 | 2,441 | 610 |
| ソフトウェア仮勘定 | 9,358 | 5,793 |
| 無形固定資産合計 | 72,172 | 82,532 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 1,740 | 3,507 |
| 繰延税金資産 | 12,459 | 20,473 |
| 破産更生債権等 | 432 | 589 |
| その他 | 47,129 | 46,960 |
| 貸倒引当金 | △258 | △476 |
| 投資その他の資産合計 | 61,502 | 71,054 |
| 固定資産合計 | 176,934 | 191,202 |
| 資産合計 | 1,162,179 | 1,208,953 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年8月31日) | 当事業年度 (2024年8月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 104,217 | 117,848 |
| 短期借入金 | 15,000 | 15,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 64,439 | 37,621 |
| リース債務 | 2,706 | 1,134 |
| 未払金 | 47,592 | 63,037 |
| 未払費用 | 8,054 | 12,120 |
| 未払法人税等 | 36,352 | 32,211 |
| 未払消費税等 | 22,193 | 21,218 |
| 契約負債 | 12,956 | 13,299 |
| 預り金 | 4,218 | 14,088 |
| 賞与引当金 | 23,150 | 22,500 |
| 流動負債合計 | 350,880 | 350,079 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 119,727 | 18,046 |
| リース債務 | 1,134 | — |
| 資産除去債務 | 37,685 | 37,951 |
| 固定負債合計 | 158,547 | 55,997 |
| 負債合計 | 509,427 | 406,076 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 246,017 | 246,980 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 236,017 | 236,980 |
| 資本剰余金合計 | 236,017 | 236,980 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 170,716 | 318,915 |
| 利益剰余金合計 | 170,716 | 318,915 |
| 株主資本合計 | 652,752 | 802,876 |
| 純資産合計 | 652,752 | 802,876 |
| 負債純資産合計 | 1,162,179 | 1,208,953 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日) | 当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 2,008,319 | 2,196,897 |
| 売上原価 | | |
| システム運用原価 | 257,093 | 321,269 |
| 回線仕入原価 | 618,647 | 647,800 |
| 端末原価 | 169,052 | 177,378 |
| 売上原価合計 | 1,044,794 | 1,146,448 |
| 売上総利益 | 963,525 | 1,050,449 |
| 販売費及び一般管理費 | 834,136 | 859,700 |
| 営業利益 | 129,389 | 190,748 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 44 |
| 為替差益 | 3 | 24 |
| 保険解約返戻金 | 11,739 | — |
| その他 | 382 | — |
| 営業外収益合計 | 12,131 | 69 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,910 | 1,127 |
| 社債利息 | 50 | 7 |
| 上場関連費用 | 10,142 | — |
| 支払手数料 | 720 | 1,550 |
| その他 | 1,198 | 163 |
| 営業外費用合計 | 15,021 | 2,849 |
| 経常利益 | 126,498 | 187,968 |
| 特別利益 | | |
| 受取賠償金 | — | 5,000 |
| 特別利益合計 | — | 5,000 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 1,449 |
| 損害補償金 | — | 4,991 |
| 特別損失合計 | — | 6,441 |
| 税引前当期純利益 | 126,498 | 186,527 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 41,007 | 46,341 |
| 法人税等調整額 | △5,090 | △8,013 |
| 法人税等合計 | 35,916 | 38,327 |
| 当期純利益 | 90,581 | 148,199 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | 純資産合計 |
|---------------|---------|---------|-------------|---------------------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 株主資本合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 99,495 | 89,495 | 89,495 | 80,134 | 80,134 | 269,124 | 269,124 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | 146,522 | 146,522 | 146,522 | | | 293,045 | 293,045 |
| ストック・オプションの行使 | — | — | — | | | — | — |
| 当期純利益 | | | | 90,581 | 90,581 | 90,581 | 90,581 |
| 当期変動額合計 | 146,522 | 146,522 | 146,522 | 90,581 | 90,581 | 383,627 | 383,627 |
| 当期末残高 | 246,017 | 236,017 | 236,017 | 170,716 | 170,716 | 652,752 | 652,752 |

当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | | 純資産合計 |
|---------------|---------|---------|-------------|---------------------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 株主資本合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 246,017 | 236,017 | 236,017 | 170,716 | 170,716 | 652,752 | 652,752 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | — | — | — | | | — | — |
| ストック・オプションの行使 | 962 | 962 | 962 | | | 1,925 | 1,925 |
| 当期純利益 | | | | 148,199 | 148,199 | 148,199 | 148,199 |
| 当期変動額合計 | 962 | 962 | 962 | 148,199 | 148,199 | 150,124 | 150,124 |
| 当期末残高 | 246,980 | 236,980 | 236,980 | 318,915 | 318,915 | 802,876 | 802,876 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日) | 当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 126,498 | 186,527 |
| 減価償却費 | 25,399 | 30,719 |
| のれん償却額 | 2,314 | — |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 284 | 119 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 3,077 | △650 |
| 訴訟損失引当金の増減額 (△は減少) | △1,831 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △4 | △44 |
| 保険解約返戻金 | △11,739 | — |
| 支払利息 | 2,961 | 1,134 |
| 上場関連費用 | 10,142 | — |
| 固定資産除却損 | — | 1,449 |
| 受取賠償金 | — | △5,000 |
| 損害補償金 | — | 4,991 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △31,746 | △37,539 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 28,970 | △4,670 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 9,630 | 13,630 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | △1,073 | 1,056 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 3,950 | △974 |
| その他 | 15,247 | 18,694 |
| 小計 | 182,081 | 209,445 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4 | 44 |
| 利息の支払額 | △2,961 | △1,112 |
| 賠償金の受取額 | — | 5,000 |
| 損害補償金の支払額 | — | △1,545 |
| 法人税等の支払額 | △30,779 | △46,242 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 148,344 | 165,588 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △48,001 | △43,002 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 30,100 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △8,136 | △2,990 |
| 有形固定資産の除却による支出 | — | △27 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △32,992 | △31,717 |
| 差入保証金の差入による支出 | △3,760 | — |
| 差入保証金の回収による収入 | 7,178 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | 26,730 | — |
| その他 | △1,873 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △60,856 | △47,637 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △105,772 | △128,499 |
| 社債の償還による支出 | △20,000 | △10,000 |
| 株式の発行による収入 | 293,045 | — |
| 上場関連費用の支出 | △10,142 | — |
| リース債務の返済による支出 | △2,683 | △2,706 |
| ストックオプションの行使による収入 | — | 1,925 |
| その他 | △700 | △1,050 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 153,747 | △140,331 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △3 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 241,232 | △22,380 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 244,226 | 485,459 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 485,459 | 463,079 |

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計に占める音声ソリューション事業の割合が、いずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

II 当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計に占める音声ソリューション事業の割合が、いずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

| | 前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日) | 当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日) |
|-------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 399.76円 | 490.88円 |
| 1株当たり当期純利益 | 62.63円 | 90.74円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 62.00円 | 87.59円 |

（注）1. 当社は、2023年6月28日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前事業年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日) | 当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日) |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益（千円） | 90,581 | 148,199 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益（千円） | 90,581 | 148,199 |
| 普通株式の期中平均株式数（株） | 1,446,186 | 1,633,235 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益調整額（千円） | — | — |
| 普通株式増加数（株） | 14,806 | 58,715 |
| （うち新株予約権（株）） | (14,806) | (58,715) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。